

府中市行財政改革検討協議会報告書（案）のまとめ方イメージ

協議会からの報告書（案）の構成は、次の4つの区分でまとめていくことを基本に作成したいと考えています。

1 現状・課題・協議会からの方策の概要

国内外の経済情勢や市を取り巻く環境、市が抱えている課題、答申で示されている方策のポイントを記載し、答申全体の考えを示します。

2 本論

各テーマごとの協議でだされた意見の概要をとりまとめ、具体的な方策などについて、「行財政改革のポイント」として、取組み策や見直し策等を記載し、協議会での協議内容を示します。

■ 記載例

1 人材育成

【職員研修】

市民が抱える課題や要望も多様化・複雑化し、市職員には、各業務に一定程度のレベルが求められ、研修によるスキルの向上は必要と考える。

また、新人職員の育成は重要であり、OJT研修制度は、能力開発のコアであり、日本企業の現場の強みの1つとされていることから、引き続き実施すべきである。

様々な研修に参加した報告書等は、他の職員も見られるようにし、業務に繋がるアイデアや業務の目的意識の醸成に活用できるようにすべきである。

行財政改革のポイント

- 企画・財政部門の職員と市民と常に接している部署の職員では、実施すべき研修内容は異なる。各業務や職員のニーズに対応した研修メニューが必要
- 内部の職員を研修リーダーとして育成し、研修講師として活用できる仕組みづくり。
- 外部講師の活用方法の基準作成。
- 市民との協働という視点から、無償で協力いただける市民の方を広報で募集する。

協議事項の議題となった大きなテーマを記載

協議事項のうち、具体的に見直すべきとされたテーマを記載

各委員から発言内容から、要旨を抜粋したものを記載。

具体的に見直すべきテーマに対する具体的な方策や見直しのポイ

3 答申の活用に当たって

協議の中で委員から特に意見の多かった取組むべき事項について、「答申の活用に当たって」として掲載し、委員の行財政改革に関する共通意見を示します。

4 資料

協議会要綱や委員名簿、協議経過を掲載します。